

単元名 形が動く 絵が動く(工作)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) アニメーションによる動きの変化の特徴を理解し、面白い動きを取り入れたり、形の変化を工夫したりしてアニメーションに表すことができる。
 (2) アニメーションの動きや変化を確かめながら、表したいことを考えるとともに、友達や自分の作品から自分の見方や感じ方を深めることができる。
 (3) アニメーションの仕組みを使って、主体的に楽しい動きや変化をつくる活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05080302_001

【準備等】デジタルカメラ、パソコン、電子黒板、プロジェクター

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 教科書の参考作品を見て、学習課題をつかむ。 ○参考作品を見て、連続写真でアニメーションをつくることを知る。 ★楽しいパラパラアニメーションをつくろう ○アニメーションができる仕組みを知る。 ・絵の変化 ・物の移動 ・物の変化 ○楽しいアニメーションの構想を練る。 ・動きの工夫 ・形の変化 ○アイデアスケッチをかく。 2～4 アイデアスケッチを基に、アニメーションをつくる。 ○デジタルカメラで写真を撮る。 ○撮影した写真を並べ、作品を完成させる。 5 友達の作品を鑑賞する。 ○友達の作品のよさをみんなで話し合う。 ・ものを少しずつ動かしたり、細かい動きを入れたりして、本当に動いているように感じました。	・教科書5・6上 P.18, 19 ・デジタル教材を使い、実際の連続写真によるアニメーションを見せ、興味をもたせる。 ・参考となる作品の写真をゆっくり見せ、アニメーションができる仕組みを理解させる。 ・動きや形の変化の面白さを生かしたアニメーションになるように、構想を練らせる。 【評】動きや形の変化を生かしながら、作品の構想を練る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・何が動くと楽しいのか、試しながら考えさせる。 ・カメラを固定し、撮影させる。 ・個人で制作する場合でも、グループで活動し協力して制作させたり、友達の工夫を自分の制作に生かしたりさせる。 ・撮影した写真をパソコンに取り込み、コマ送りしながら、アニメーションを確認させ、作品を完成させるようにする。 【評】アニメーションのよさや面白さを感じ、制作を楽しむ活動の様子を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】連続写真のアニメーションの特徴を理解し、制作する活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・電子黒板やプロジェクターなどを使い、大きな画面で鑑賞し合うようにさせる。 ・鑑賞のプリントを用意し、友達の作品のよさを記入し、話し合わせる。 【評】友達の作品を鑑賞し、作品のよさや面白さ、工夫を感じ取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】これまでの学習活動や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

他教科等との関連
 国語科の「文章全体の構成や展開を考える」活動と関連させ、アニメーションの物語を考えることもできる。